

# 110<sup>th</sup> anniversary since 1903

## 常に半歩先立つ進歩性

### 理事長 藤井 耐

本学は、明治36年(1903年)、高知県出身の川田鐵彌先生により開校されました。川田先生は、当時の東京帝国大学漢文科を御卒業され、陸軍幼年学校の教師となられましたが、30歳の若さで高千穂学園高千穂尋常高等小学校を開校。その後、明治40年(1907年)高千穂幼稚園、明治42年(1909年)高千穂中学校、そして大正3年(1914年)現在の高千穂大学の前身である高千穂高等商業学校を開校されたのです。

川田先生の教育理念は、①祖先の祭礼の重視と忠孝 ②勤労と体育の重視 ③自治の精神と品性の修業 ④信義の重視 ⑤言行の慎みと敬意の尊重 ⑥(年)長者への敬意と幼者の導き、そして ⑦志操を固く

し、事の正確さを守るべきこと——にみられるように学問研究を通じて人間性豊かな若者・青年を育成することでした。

この川田先生の教育理念を表現したものが『学風の指針』である「常に半歩先立つ進歩性」および『学風の目標』である「気概ある常識人」「偏らない自由人」「平和的国際人」です。『学風の指針』である「常に半歩先立つ進歩性」とは「継続的努力」および、「努力の継続性を実現した者にのみ醸成される現象を科学的に分析する能力および将来を客観的に予見する能力」を意味します。

また、『学風の目標』である「気概ある常識人」とは、精神性の強さを示し、「偏らない自由人」とは、人間行動・社会現象を分

析するにあたり、思想中庸にして常に客観的・科学的視点に立脚した考察を重視することを表しています。

そして「平和的国際人」とは、自らを、または自らの家族・組織・国家を大切に思うと同様に、他者や他国家を敬愛する心を育むことを意味しているのです。ひとことで表現するならば「気概」・「中庸」・「配慮」と呼ぶことができるでしょう。

本学はこれらを教育理念とし「家族主義的教育共同体」としての文化のもと、学生たちの知的・人格的資質を醸成する教育機関として歩み続け、本年学園創立110周年を迎えたのです。



本学のキャンパスは、東京都のほぼ中央に位置する杉並区大宮にあり、緑多く閑静な住宅地のなか、学舎として恵まれた環境にあります。

学風の指針は、創立者である川田鐵彌先生の教育哲学を表現した「常に半歩先立つ進歩性」です。どのような状況下においてもあきらめることなく、たとえゆっくりとも前に向かって進もうとするチャレンジ精神を培ってもらうことに、その真髄があります。常に進歩していくためには、的確な状況判断のもと、今やるべきことにベストをつくす力が必要です。このことが、混迷を極め、先行きの不透明な現在、最も求められている生き方ではないでしょうか。

本学では、この学風の指針を具体的なかたちとするための第一歩として、初年次生に少人数クラス(10~12人)の「ゼミⅠ」を必修としています。この授業では、大学生としての基礎的なスキルを学ぶわけです。「ゼミⅠ」の後半に、口頭発表会が設けられています。発表テーマの決定・調査・発表準備の経験から、自らの学び・対話・議論などの共同作業の方法を習得し、総じてコミュニケーション能力の向上につながっています。また担当教員は、ゼミ学生一人ひとりをサポートするアドバイザーとしての役割も担っています。「ゼミⅠ」は、2年生の「ゼミⅡ」、3年生の「ゼミⅢ」とそして4年生の「ゼミⅣ」の基礎・基盤で、高千

### 学長 並木 雅俊

穂ゼミ教育の体系の一つです。これらゼミ活動における知識の習得に加え、そこで得た知識・技術を駆使していずれにも対応することのできる力を身に付け、研究テーマを通じて社会との接続を考えてもらっています。またゼミ活動は、生涯の知己を得るよき機会ともなっています。

大学とは思考の礎を築く場です。しっかりと学ばず社会に役立ちます。社会人基礎力の醸成を端緒とする就職支援も含め、教員と職員は常に学生の成長を願い、努力を続けています。

伝統と実績のある人間教育の高千穂で学ぶ意欲のある若者を待っています。

### 高千穂学園 110周年の歩み

- 1903年(明治36年4月) 創立者川田鐵彌が高千穂尋常高等小学校を豊多摩郡大久保村、現在の東京都新宿区新宿七丁目に開校
- 1907年(明治40年4月) 高千穂幼稚園を設置
- 1909年(明治42年4月) 高千穂中学校を開校
- 1914年(大正3年4月) 高千穂高等商業学校を豊多摩郡和泉内村字大宮、現在の東京都杉並区大宮二丁目に開校(国内初の私立の高等商業学校)
- 1944年(昭和19年3月) 高千穂高等商業学校を高千穂経済専門学校に改称
- 1950年(昭和25年3月) 学制改革により、高千穂経済専門学校を高千穂商科大学に昇格
- (昭和25年4月) 商学会発足
- 1971年(昭和46年6月) ストア・マネジメント研究所を設置
- 1972年(昭和47年4月) 語学研究所を設置
- 1987年(昭和62年4月) 総合研究所を設置
- 1990年(平成2年4月) 商学部経営学科を設置
- 1996年(平成8年4月) 大学院経営学研究科(修士課程)を設置
- 1997年(平成9年4月) アジア研究交流センターを設置。情報メディアセンターの発足
- 1998年(平成10年4月) 大学院経営学研究科(博士後期課程)を設置
- 2001年(平成13年4月) 高千穂大学に校名を改称。経営学部経営学科を設置
- 2003年(平成15年5月) 高千穂学園創立100周年
- 2007年(平成19年4月) 人間科学部人間科学科を設置
- 2013年(平成25年5月) 高千穂学園創立110周年



### キャンパスアメニティのより充実した都市型大学



\*新1号館イメージ図:平成27年4月完成予定



**高千穂大学**  
TAKACHIHO UNIVERSITY SUGINAMI TOKYO

〒168-8508 東京都杉並区大宮 2丁目19-1

TEL 03-3313-0141(代) FAX 03-3313-9034

URL <http://www.takachiho.jp/>

